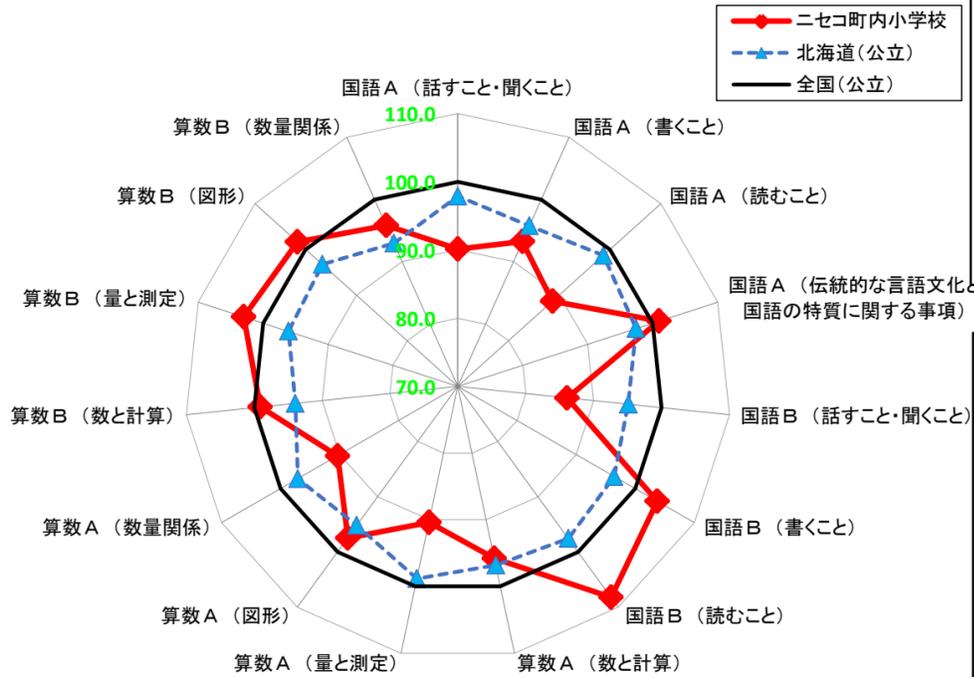


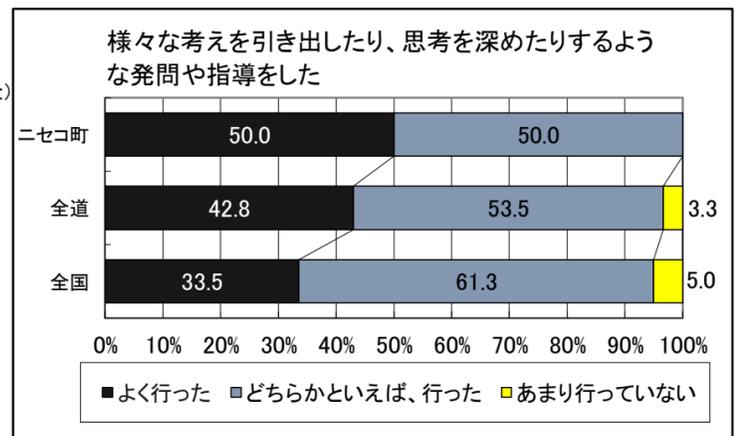
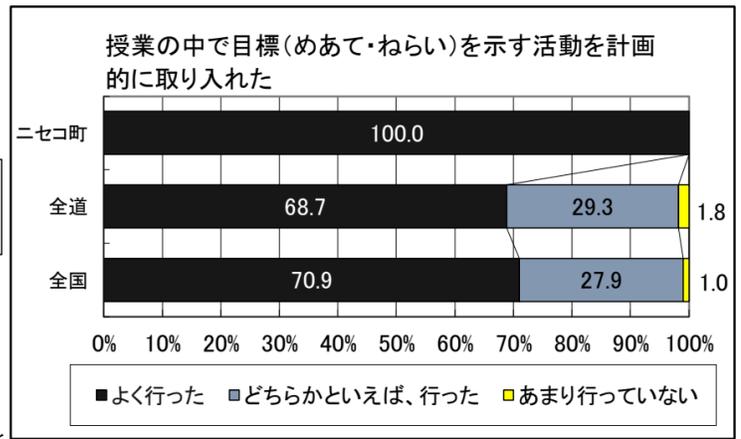
■ニセコ町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:28名)

【教科全体の状況】

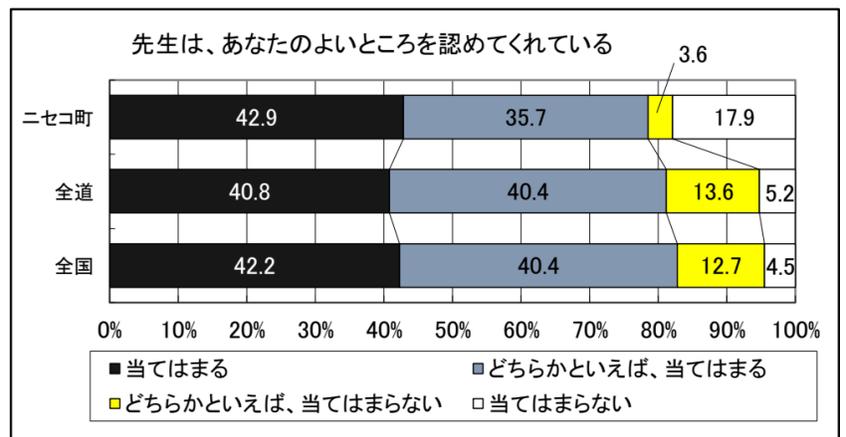
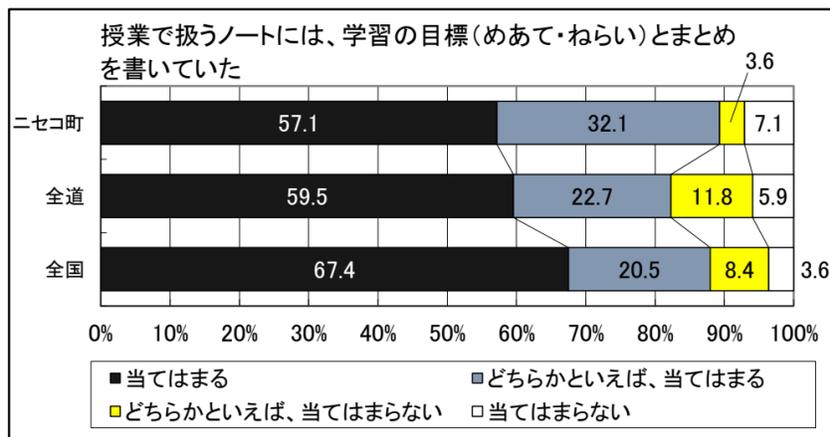
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Bでは、「量と測定」「図形」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れ、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問等をした結果、基礎的・基本的な内容が定着するとともに、思考力・判断力・表現力等が育成され、国語Aの「書くこと」「読むこと」、算数Bの「量と測定」「図形」で、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ 「様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ T・T指導や習熟度別少人数指導、ICTの有効活用など多様な指導方法の工夫
- ◎ アクティブ・ラーニングの導入などによる「楽しい」「わかる」授業づくりの推進
- ◎ 学校図書室支援員の配置による読書環境改善や読書習慣定着の取組の充実
- ◎ 「学校評価ガイドライン」に基づく幼・小・中・高の連携強化と学校改善の推進